

臺長

昭和二十年十二月廿四日

書記

東京天文台長 関 野 吉

毎日新聞編輯長宛  
請書

拝啓 愈々御隆昌大賀候 陳者 在名編輯纂、曆書、

例年伊勢神宮ヨリ刊行一般頒布セシ國民大衆年

中行事、規準トセラレタル處 昭和二十一年度、曆本、諸般

ノ事情ニ依リ頒行ノ圓滑ヨリ期シ難キヤニ察セラレ候ニ就

テハ此際別ニ曆本、骨子トナルベキ事項ヲ蒐録シテ汎

告知ニ國民、據ル所ヲ明シカニシテ濃烈ヲ防グヲ緊要

こと、存之別紙貴覽ニ依シ矣問何命ノ御協力ヲ賜  
 之幸甚之有之候尚更ニ太陽及月ノ日出没、潮汐満干  
 等詳細ノ事項ヲ含ム年表ニ至リテ、別ニ刊行ノ準備中ニ  
 シテ一月中ニ所望者ニ配布可能ノ見込ニ有之候モ別ニ又  
 新聞記事ニ應ハレテ説明ヲ如ヘルヲ御希望ニハシ談  
 談ノ形式ヲ以テ記述セル原稿送附スルカ或ハ御使者御  
 足湯ヲ煩ハレ小生談話御聞取リ上御掲載相成候  
 毛養支無素何分御意向承リ度願上候

臺長

書記

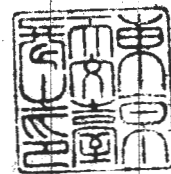
昭和二十年十二月廿四日

東京天文台長

閣下

鯉

吉



放送協会 相澤部長 敬

拝啓 命 御降昌 大賀候 陳者 本台 御 案 暦書

例年 伊勢神宮より 刊行 一報 頒布 せられ 國民 大衆 年中

行事 規準 ト せられ タル 處 昭和 二十 年度 暦本 諸報

事情 依り 頒行 直滑 ヲ 擲シ 難キヤニ 察 せられ 候ニ

致 此際 別ニ 曆本 骨子 ト ナル 事 項 ヲ 蒐 録 して

汎 告知 せ 玉 長 據 此 ト コロニ 略 々 混 乱 ヲ 防 ぐ

緊要ノコト、存ジ別紙貴蹟ニ供シテ、何事、御協力  
 ヲ賜ラバ幸甚ニ有之候。尚、運ニ太陽及月、虫没、漸次  
 満干等詳細ノ事項ヲ含ム年表ニ及リテ、別ニ刊行ノ準  
 備中ニモ、一月中ニハ拜望者ニ、所存ノ可能ノ見込ニ有之  
 候モ別ニ又、拜望報導新中、謀事ニ應ヒテ、説明ヲ加ヘルヲ御希望  
 ニハ、談話ノ形式ヲ以テ記述セル原稿送附スルカ、或ハ御  
 使者御足勞ヲ煩ハシ、小生談話御聞取りノ上、御掲載相  
 成候モ、長支無之、何分、御意向承リ、願上候。

昭和21年=於ケル廿四節氣 雜節及朔弦望及食

節氣	入節	節氣	入節	雜節	節	月	朔	上弦	望	下弦
小寒	1 <sup>月</sup> 6 <sup>日</sup>	小暑	7 <sup>月</sup> 8 <sup>日</sup>	土用	1 <sup>月</sup> 18 <sup>日</sup>	1	3 <sup>日</sup>	11 <sup>日</sup>	17 <sup>日</sup>	25 <sup>日</sup>
大寒	1 21	大暑	7 23	土用	4 18	2	2	9	16	24
立春	2 4	立秋	8 8	入梅	6 11	3	4	10	18	26
雨水	2 19	處暑	8 24	半夏生	7 2	4	2	9	16	25
啓蟄	3 6	白露	9 8	土用	7 20	5	1 31	8	16	24
春分	3 21	秋分	9 24	土用	10 21	6	29	7	15	22
清明	4 5	寒露	10 9			7	28	6	14	22
穀雨	4 21	霜降	10 24			8	27	5	13	20
立夏	5 6	立冬	11 8			9	25	3	11	18
小滿	5 22	小雪	11 23			10	25	3	11	17
芒種	6 6	大雪	12 8			11	24	2	9	16
夏至	6 22	冬至	12 22			12	23	2 31	9	15

④ 佐藤編曆傳主任等書目已レ詳略明表ニ濫觴スル  
 (二五七五二五七五)

食	月日	東京=於此初虧	東京=於此復円
皆既月食	6月15日	前1時 43.5	前5時 33.2
皆既月食	12 9	前1 10.2	前4 25.8